

令和6年度 第1回 新潟市潟東樋口記念美術館運営協議会 会議概要

日時：令和6年8月28日（水） 午後1時30分から2時45分

場所：潟東地区公民館研修室

出席委員：5名

赤塚久枝、小田一郎、乙川千香、菊地英隆、宮沢淳子（五十音順、敬称略）

欠席委員：1名

佐藤正昭（五十音順、敬称略）

傍聴者：なし

事務局：（潟東地区公民館）村越茂樹 佐久間美和

（樋口記念美術館）橋本博文：学芸員 岡本典子：学芸員補助

資料：別添

会議のあらまし

- ・令和6年度第1回目の協議会を開催した。
- ・令和6年度の事業計画について説明を行い、意見を求めた。

（1）令和6年度事業計画について

事務局から概要を説明。

（2）その他

寄託期間の更新予定、寄贈作品の受入れについて、事務局から概要を説明。

「公の施設に係る受益者負担の設定基準」策定及び使用料の見直しへの取り組みについて、事務局から概要を説明。

〈意見等〉

- ・先日まで行われていた企画展については、入館者数も多く、外部へもいろんな媒体を通して周知されており、大変よいものになったと感じている。
- ・参加いただいた作家、関係者から、今回だけに限らず、また違うテーマでも参加いただけるよう関係性を築いて行けるとよい。
- ・水彩画や工芸などいろんな分野があり、様々な展示を通して、観る側への創作意識の啓発にも繋がる仕掛けづくりも必要である。
- ・美術館設立となった経緯でもある「樋口顕嗣」氏寄贈作品、また、地元潟東地区ゆかりの方の作品についても、常設での展示コーナーを設けてほしい。
- ・寄贈作品の受け入れの可否については、地元潟東地区との関係性等も含め、一定の基準が必要と思われる。他施設の状況も把握しながら、検討をお願いしたい。

令和6年度第1回 新潟市潟東樋口記念美術館運営協議会 次第

日時 令和6年8月28日 13時30分～

場所 潟東地区公民館第1研修室

1 開 会

2 議 事

(1) 令和6年度事業計画について

(2) その他

3 閉 会

潟東樋口記念館・潟東歴史民俗資料館

イベント名	内容
4月～6月 コレクション展(春季館蔵品展)	館蔵品の樋口コレクションの中から、優品の皇室に伝わった銀器のボンボニエールを始めとする各種工芸品や日本画、洋画、書などを展示する。
6月～8月 中野雅友(アイヌ・ユークラ油絵&縄文)展	白根出身の洋画家、中野雅友の生涯通してテーマとしてきたアイヌの人たちに対する眼差しと、新たにテーマに加わった「縄文」の土偶の美をコラボレーションして油彩と水彩で表現する。
6月～8月 金子孝信と戦争展	新潟市中央区蒲原神社出身の金子孝信は東京美術学校を主席で卒業するや、中国の戦地で儂い生涯を閉じた。その戦争の悲惨さを遺された作品や遺品と共に辿る。広く同時代の戦争遺物を紹介して展示する。
9月～12月 尾竹三兄弟三者三様展	尾竹越堂・竹坡・國観の三兄弟が、「日の出」、「富士山」、「花鳥」、「仏画」、「人物」など同じテーマで描いた作品を比較・展示する。各々の個性を味わいたい。
1月～3月 お雛様展	越後お雛様研究会のメンバーからお借りした江戸時代から現代にわたる歴史的な優品のお雛様、現代工芸作品のお雛様、布・紙・木・陶器・磁器・ガラスなど材質の異なるお雛様を展示する。併せて尾竹三兄弟を始めとする作家の雛絵の掛け軸作品も飾る。また、地元の潟東保育園、潟東小学校、更生慈仁会すずまり、グループホーム中之口の教育機関・福祉施設との連携で吊るし雛も展示する。
6月～3月 お茶の間美術館	地域で活動している各種団体、保育園児・小中学生の作品を展示する。